



新村の人口・世帯数
平成 28 年 3 月 1 日現在
人口 3,308 人
世帯数 1,278 世帯

松本大学と 新村地区で 地域協定締結



あたらしの郷協議会では、今年1月21日に松本大学と地域づくりに関する連携協定を締結しました。

今まで運動会・文化祭・大挙祭などの個々の行事での交流が有りましたが、今回の協定締結により協議会の地域振興・安全安心・いきいき・学

びの友の4つの部会と広報委員会に大学側にも参加していただくこととなりました。大学の専門性や学生の皆さんの発想で、地域づくりをとまに考え、また地域が学生さんの学びの場となり、更に魅力ある新村にしていくことを目的としています。

第31回公民館研究集会

20数年ぶり、懐かしくもあり、新鮮な面持ちで、集會に参加した。

当時市民による運営委員会が立ち上がり市民の手による集會が開催されるようになる。

数年関わることになり、10回目、「俺は体協人だ」と銘打ち、公民館の体育委員と体協との関わりを、分科会で議論した。又、座長になり各地区の運動会について、研究したこと等々、蘇ってきた。

今回の集會では新村地区の取り組みとして「プチ送迎ボランティア」や「ささえ愛カード」の事例発表もあり、このような勉強会が開催されていることは、地域力アップに繋がるものと、期待するものである。



真剣にグループワーク

熊井 靖夫

ものぐさ大学 第2回 おでかけウォーキング

3月2日(水) 32名が参加し、庄内地区に「おでかけ」しました。

庄内地区の福祉ひろばを拠点に、弘法山古墳や泉小太郎像、千鹿頭神社などを巡る約6キロのコースを、地元サークル「歩こう会」のメンバー4名の案内のもと、約2時間かけて歩きました。大型店舗が立ち並ぶ「都会」のイメージがある庄内地区ですが、ゆっくり歩くことで、ま



晴天に恵まれました

穂束八

昨年4月にネパールで起きた大地震から5ヶ月が経ち、現地を訪れた私たちは、日本で起きた大震災と比べ遥かに復興が遅いことに衝撃を受け、ニーズを探る活動をしました▼文化遺産がたくさん残った地区で、屋根の修繕をしていた方々に出会い手伝いをさせていただきました。木材を使うことになりました。木材を使った屋根の骨組み作りとトタン張り、がれきの撤去などの力が仕事の主です▼現地の言葉が

わからない私たちは、意思疎通ができないことに四苦八苦。ジェスチャーと英語を混ぜながら仕事内容を把握し、丸2日作業を手伝いました。骨組みはできてトタンを全て揃える余裕がないと言ったこのお宅へ、個々のお財布からトタン資金の寄付もしました▼興味深いのは作業をずっとやりが日本からきて炎天下の作業をしていることを知った人が、冷えた飲み物を差し入れてくれたことです。その優しさに助けられたと同時に、私たちの行動が現地の人々の復興活動の「きっかけ」になっ

て欲しいと強く感じました。

寒さに負けず!

2月7日(日)芝沢体育館にて第28回新村地区冬季室内競技大会が開催され、綱引きの部に10町会、卓球の部に9町会が参加し、熱戦が繰り広げられました。



結果

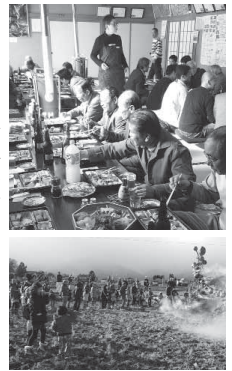
- 綱引きの部
 - 優勝 上新西
 - 準優勝 下新北
 - 第3位 北新中
- 卓球
 - 優勝 上新西
 - 準優勝 山王
 - 第3位 下新北
- 卓球(小学生の部)
 - 優勝 谷本陽向さん
 - 優勝 青木翔馬さん

地区から

こんにちは

下新南町会

新村地区で最も東寄りに位置し、島立地区と隣接しています。世帯数は108戸と大所帯の町会です。ここ数年新居を構え新しく町会に仲間入りした30〜40代の人が増え活気の後押しに繋がっていると考えます。年間を通して幾つかの行事があります。皆さん声をかければ快く参加してもらえます。



シリーズ

もののけ紙紹介

ひろば事業の切り紙教室。折り紙教室の終了により「紙あそびの会」としてものぐさ会に加入しました。



一枚の紙を折ったり、切ったり、丸めたり、のりづけして平面的・立体的に作りあげます。様々な作品があり、

恒例の研修旅行は遠方へは出向きませんが、ゆっくりのんびりできるような計画を立て、毎年50人以上の皆さんに参加をいただいています。球技大会や運動会も大勢の人に協力していただき、慰労会も盛大に行ってコミュニケーションを図り、気軽に楽しんでとも言える雰囲気町の町会です。

それぞれのペースで思うままに作っています。童心に戻り、色・柄紙を選び、指先を使い、図面を見て考え、世間話をしながら季節を感じ製作することで認知症予防にもつながります。お手持ちの本があり、作り方がわからない方も一緒に考えて作りませんか？費用はコピー代1枚10円から、キット使用の時は実費600円位です。

月2回、縁側の日午後1時から、もう1回はひろばだよりを参照して、お気軽にお越しください。お待ちしております。

松本大学生

ボランティア vol.11

Q. 大学生編集委員としての活動はどのようでしたか。

A. 私は、松本大学生として丸4年間公民館編集委員の活動をしてきました。始めた当初は分からないことが多く、戸惑うことがばかりでした。しかし、自分たちの記事が掲載されるようになる、記事を構成することの難しさを知りながらも、より館報作りへの関心が高まりました。新しい環境で、運動会や文化祭にも参加させていただき地域の人の優しさに触れ、充実した活動をする事ができました。



乾佐和子さん A. 新村に生まれ育った私は松本大学に入り、

きました。4年間ありがとうございました。ございました。

新村の銘菓「太郎の石枕」

2月21日(日)新村公民館にて「太郎の石枕」まんじゅう作りの教室が行われ、受講者4名とさわらびの会の皆さんが参加しました。抹茶・みそ・ゆかりなどを練り込んだ生地の中にあんこを詰めたい地区に伝わる伝統のおまんじゅうで、20年程前に婦人部の皆さんが考案し、今はさわらびの会が継承して



馴れた手つきで...